

立憲民主 渋谷
The Constitutional Democratic Party

渋谷区議会議員

おだひろみ

区議会レポート Autumn

小田浩美プロフィール

- 1965(昭和40)年 9月生まれ 宮城県女川町生まれ 東二丁目在住(34年)
- 家族 夫・娘・息子 渋谷消防団第二分団所属 防災士
- 第14代国土交通大臣馬淵澄夫公設秘書 衆議院議員中谷一馬政策担当秘書 衆議院秘書協議会副会長 民進党秘書会会長 立憲民主党秘書会会長 日本秘書クラブ会員
- 平成31年渋谷区議会議員初当選
- 総務委員会(副委員長) 多様性社会推進特別委員会

もっともっと
輝くシブヤ
Shining Shibuya

令和2年第3回定例会 9月9日～10月9日

今定例会では、条例改正4本と補正予算(第6号)が審議されました。

コロナウイルス感染症発生に伴う国や都の支援支出金を含めた今年度予算総額は過去最高の、

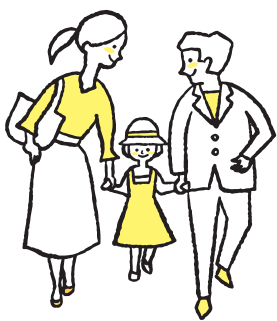
1,346億5,466万5,000円です。

補正予算の主な内容

- 国の支援から外れる介護サービス事業所、福祉施設への事業継続支給費。
- 感染症対策のための介護サービス事業所、福祉施設への施設改修事業費。[都支出金]
- 中小企業事業資金融資利子補填の申請期間をR3年3月まで延長。
[地方創生交付金からの都支出金含む。産業観光課産業振興課03-3463-2142]
- 財政調整基金への積立金。

令和元年度決算審査

新元号が幕開けした昨年は、新庁舎と公会堂が一体的に新エネルギーを採用して光熱費を削減。また、街路灯のLED化も約4割達成しました。防犯カメラ設置の拡充や分煙指導員による路上喫煙対策、キャッシュレス決済の導入促進事業等の成果を評価しました。



一方で、大きな話題ともなったハロウィン対策。一億円強支出された事業の成果、金額の妥当性など検証結果の報告はされていません。東京都や警察との連携を含め、区税での対策が適正なのか引き続きの検証が求められます。



コロナウイルス感染症の影響から、今後顕在化してくる財政問題を鑑み、健全な財政基盤確保と区民ニーズの調査、支援を充実させていくことを指摘し、会派として令和元年度決算を認定しました。

千駄ヶ谷駅前公衆便所リニューアル

オリ・パラ競技大会開催に向け、あらゆる人が快適に利用できる公共トイレを目指して建て替えを行ったものです。千駄ヶ谷には将棋会館もあり、トイレ内には将棋文化に関する展示もされています。

総工費
一般会計より1億2647万2280円

他にも、日本財団が展開する「THE TOKYO TOILET」プロジェクトのご協力で7ヶ所の公共トイレがリニューアル設置されました。

16人の建築家やデザイナーが参加されている本プロジェクトにより2021年夏までに全17ヶ所がリニューアルされます。これら公共トイレの維持管理は、日本財団、渋谷区、一般財団法人渋谷区観光協会の三者で取り組んでいきます。



THE TOKYO TOILET

立憲民主党渋谷

住所：150-8010 渋谷区宇田川町1-1区役所13階
電話：03-3463-1042 FAX：03-5458-4967

おだひろ応援会事務所

住所：150-0011 渋谷区東1丁目8-1 K-HOUSE401号室
電話：080-5434-0088 FAX：03-6478-8077



おだひろみ

e-mail：info@odahiromi.jp
URL：https://odahiromi.jp

季節性インフルエンザ
ワクチン接種公費助成

子どもインフルエンザ予防接種 全額助成

対象年齢	助成回数
1歳～12歳	2回(接種間隔:2～4週間)
13歳～中学3年生	1回

※指定医療機関以外で接種した場合は助成対象外です。

接種期間 10月1日～1月31日

※渋谷区から個別にお知らせは発送していません。希望する場合は指定医療機関に直接予約をしてください。乳幼児医療証または子ども医療証(住所確認用)、母子健康手帳をお持ちください。



接種場所
区内指定医療機関

高齢者インフルエンザ予防接種 全額助成

対象年齢	接種回数	接種方法
65歳以上 (12月31日現在)	1回	9月下旬に個別に 接種票を送付しています。
60歳～64歳(注)		希望する人は渋谷区に連絡してください。

(注)心臓・じん臓・呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害があり日常生活が極度に制限される人(身体障害者手帳1級相当の人)

接種期間 10月1日～1月31日

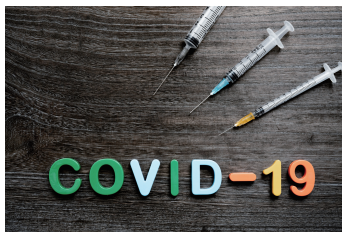
渋谷区保健所 地域保健課 感染症対策係 03-3463-2416

令和2年
9月10日

令和2年第3回定例会で代表質問

新型コロナウイルス感染症関連等11点について伺う

新型コロナウイルス感染症関連について



感染症の影響で実施できなくなった事業数及び予算額は。執行停止の予算は繰越金とするのか、予算の組み換えを行うか。「新型コロナウイルス感染症等対策基本条例」の制定を。都の支援から外れる人に区負担でPCR検査を。対象年齢を外し、希望する区民にインフルエンザ予防接種助成を。

区長 現時点で確定できない。緊急度合いに応じて適切に対応。条例現時点で考えてない。PCR検査は国や都の動きを注視。予防接種全ての世代を助成する考えは今のところない。

住民参画のプロセスについて

地域還元施設のふれあい植物センター改修、利用方法は地域住民の参画が前提では。ササハタハツ会議は月1回程度開催を。区民提案はどう反映されるか。

区長 地域住民はじめ広く意見を聞く。提案は設計や運営手法に取り込む。

高齢者支援について

AIロボット・アイボを活用した見守りの実証結果と進捗は。希望者にGPS端末の購入補助を。お帰りサポートの周知とネットワーク強化を。買い物代行サービス利用に補助を。



区長 AIロボットはコスト面や機能に課題があり見送った。GPSは費用対効果の面から導入しない。周知、登録奨励する。買い物代行補助の考えはない。デバイス利用などを推進する。

羽田新ルートについて



現状について改めて区民の声を聴きとるべき。必要性を含めて見直し、撤回の要望を申し入れて頂きたい。

区長 要望は聞いている。現時点で見直しや撤回を求める考えはない。

教育について



長期休校中の学習成果格差のリカバリーは。自主欠席をしている児童数と学習サポート、学期末評価の基準は。卒業生への記念行事の検討を。特定校だけでなく区内全校を英語教育重点校にすべき。新聞から時事問題の学習を。民間人校長起用を検討していると聞いたがいかがか。小中学生の携帯、ゲーム依存症への対策は。国連セクシャリティ教育の性教育を取り入れるべき。



区長 人事案件の答弁は控える。依存症には、教育委員会や地域と連携し目を配る。

教育長 習熟状態に応じた学習を各学校に指導。評価は総合的に判断する。思い出に残る行事を支援する。全生徒の英語力向上を図る。依存症対策は、家庭、警察、企業等の協力を得て学校を支援する。性教育は学習指導要領で実施。

その他の質問

クラウドファンディング及びふるさと納税

- 区拠出金1億円と寄附目標額1億円の妥当性及びサイトでの目標額の差異は。
- 使途報告と効果の検証を。
- ふるさと納税は公共事業にあてるべき。

ジェンダー平等と女性政策について

- 女性の安心安全自治体調査で渋谷区が最下位について。
- 全ての性犯罪、性暴力撲滅について。
- 若年女性の保護とシェルター設置を。



区民相談体制について

- 相談窓口、外国語対応など全般の環境整備を。
- 相談ダイヤルを無料で、聴覚障害者にビデオ通話サポートを。

アレルギー予防のサポートについて

- アトピー性皮膚炎予防のサポート強化を。
- 育児パッケージに保湿剤と予防冊子を。
- ネオボラでの双方向オンライン活用を。



環境問題について

- 公共施設の熱帯材使用削減の行動評価と条例化を。
- ペットボトル削減の全庁的な取り組みを。
- プラごみ削減の推奨を。



防災対策について

- ホテル旅館組合との協定を確認し速やかな利用整備を。

次回第四回定例会は11月25日から開催予定です